

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 8334 Mar 3 2021

Copyright(C) 2021 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

[試読 >](#)

東京時間2021年3月3日水曜日17時<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎お知らせ

○「第3回立ち寄りセミナー ～早春編～」のお知らせ

2021年を迎え日本政府がカーボンニュートラルの実現を目指す2050年まであと30年を切り、脱炭素に向けた研究、技術開発が各分野で着々と進んでいます。リム情報開発は、脱炭素に向けたエネルギー産業の未来に関する考察を深めていただくための一助となるよう、以下の要項でオンラインセミナーを開催いたしますのでお気軽にお立ち寄りください。この立ち寄りセミナーは、エネルギーの動向をタイムリーに紐解く季刊誌「エネルギー通信」の発刊に合わせて開催しております。

◆テーマ : 脱炭素への舵取り 待ったなし ◆日時 : 3月11日(木) 14:00~15:30

◆形式 : Microsoft Teamsライブイベントを使用。事前にセミナーへアクセスできるURLをお送りします。3月10日(水)14:00~15:00の間に接続をお試しいただけます。

◆参加費 : 3,000円(税抜き) お申込みいただいた後、当方から請求書(PDF)をメールにてお送りいたします。所定の口座へ3月9日(火)までにお振込みください。ご参加いただいた方に「エネルギー通信」(定価5,000円)の2月20日号、「クリーンエネルギー」最新号(5,000円相当)を進呈いたします。

◆下記のリンクより3月8日(月)までにお申し込みください。

URL : <https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat01/2021/1667737.html>

不明点やご質問がありましたら、何なりとお問い合わせください。

リム情報開発(株) 研修・セミナー開発チーム

電話 03-3552-2411 E-Mail info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

3日のレックス22は、前日から1.32ポイント下落し102.56です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

東京時間2021年3月3日水曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バーjisポット価格 (製油所・油槽所バージ取り・円/kl)

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 59,000 ~ 59,500 +	59,250	+1,500	+1200/+1700	
灯油	- 54,400 ~ 55,200 -	54,800	-200	-700/ +100	
軽油0.001%S	+ 60,300 ~ 61,200 +	60,750	+750	+300/+1200	
A重油0.5%S	+ 58,500 ~ 59,500 +	59,000	+1,600	+1100/+2100	
A重油0.1%S	+ 59,000 ~ 60,000 +	59,500	+1,600	+1100/+2100	
C重油0.3%S	47,500 ~ 48,500	48,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	42,000 ~ 43,000	42,500	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	50,500 ~ 51,500	51,000	+0		
船舶用3.0%S重油	42,000 ~ 43,000	42,500	+0		
西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 59,000 ~ 59,500 +	59,250	+1,500	+1200/+1700	
灯油	- 54,300 ~ 55,300 -	54,800	-200	-800/ +200	
軽油0.001%S	+ 59,800 ~ 60,700 +	60,250	+750	+300/+1200	
A重油0.5%S	+ 59,000 ~ 59,500 +	59,250	+1,850	+1600/+2100	
A重油0.1%S	+ 59,500 ~ 60,000 +	59,750	+1,850	+1600/+2100	
C重油0.3%S	47,500 ~ 48,500	48,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	42,000 ~ 43,000	42,500	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	50,500 ~ 51,500	51,000	+0		
船舶用3.0%S重油	42,000 ~ 43,000	42,500	+0		
市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース					
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。					

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バージ取り・円/kl)

	3月	4月	5月
ガソリン	+ 59,000 ~ 59,500 +	+ 55,400 ~ 56,400 +	+ 54,900 ~ 55,900 +
灯油	- 54,400 ~ 55,200 -	+ 55,800 ~ 56,800 +	55,300 ~ 56,300
軽油0.001%S	+ 60,300 ~ 61,200 +	+ 59,700 ~ 60,700 +	+ 59,200 ~ 60,200 +
A重油0.5%S	+ 58,500 ~ 59,500 +	+ 57,900 ~ 58,900 +	+ 57,500 ~ 58,500 +
A重油0.1%S	+ 59,000 ~ 60,000 +	+ 58,400 ~ 59,400 +	+ 58,000 ~ 59,000 +
C重油0.3%S	47,500 ~ 48,500	- 46,900 ~ 47,900 -	- 46,500 ~ 47,500 -
C重油3.0%S	42,000 ~ 43,000	- 41,400 ~ 42,400 -	- 41,000 ~ 42,000 -

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl)

	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
ガソリン						
4月限	53,750	54,350	53,750	54,350	+270	36
5月限	53,890	53,890	53,650	53,860	+130	50
6月限	53,050	53,500	53,050	53,460	+310	44
7月限	52,580	53,020	52,580	52,950	+300	22
8月限	52,250	52,450	52,150	52,400	+170	155
9月限	51,680	52,180	51,680	52,020	+80	39
合計						346
灯油						
4月限	54,810	54,810	54,810	54,810	+70	1
5月限	53,570	54,490	53,570	54,280	-60	34
6月限	54,240	54,240	53,910	54,210	+150	53
7月限	53,540	53,710	53,540	53,710	+170	26
8月限	52,730	53,330	52,730	53,020	+140	21
9月限	52,750	53,330	52,750	53,160	+40	7
合計						142

軽油						
4月限	-	-	-	58,700	+400	-
5月限	-	-	-	58,200	+200	-
6月限	-	-	-	57,900	+300	-
7月限	-	-	-	57,500	+300	-
8月限	-	-	-	57,100	+300	-
9月限	-	-	-	56,800	+300	-
合計						-
原油						
3月限	41,090	41,530	41,030	41,480	+130	51
4月限	40,700	41,050	40,520	40,930	-110	182
5月限	40,400	40,720	40,170	40,570	+90	57
6月限	39,840	40,300	39,790	40,210	+140	332
7月限	39,450	39,910	39,420	39,870	+230	1,998
8月限	39,150	39,600	39,100	39,550	+220	1,757
合計						4,377
取組高(03/02)(売): ガソリン 1,542 灯油 1,072 軽油 0 原油 113,019						
取組高(03/02)(買): ガソリン 1,542 灯油 1,072 軽油 0 原油 113,019						
1枚=50kl						

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)					
ガソリン	56,975	+125	灯油	59,275	+1,175
未課税軽油0.001%S	59,500	+650	A重油0.5%S	58,500	+1,450
A重油0.1%S	59,000	+1,450			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)					
20/12/01-31r	29,123	21/01/01-31r	32,625	21/02/01-28	3月17日発表予定
20/12/01-10	28,890	21/01/01-10	31,169	21/02/01-10	35,866
20/12/11-20	28,973	21/01/11-20	32,753	21/02/11-20	3月5日発表予定
20/12/21-31	29,378	21/01/21-31	33,516	21/02/21-28	3月17日発表予定
r=修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)					
21/2月		21/3月		21/4月	
36,450	±0	41,120	+10	43,000	-150

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)				
	スポット価格		プレミアム	
ナフサ	- 576.75	582.00 - **	9.25/ 9.75	円/kl
ジェット/灯油	+ 67.70	67.80 +	1.60/ 1.70	43,712
軽油 0.001%S	+ 69.45	69.55 +	0.70/ 0.80	49,076
重油 0.3%S	- 489.25	499.25 -	123.00/133.00	50,667
重油 380cst 3.5%S	- 356.75	357.75 -	-4.50/ -3.50	54,988*
円ドル換算レート (TTS 円/ドル 3月3日現在) 107.78 *密度0.95				
**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値				

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)				
	スポット価格		プレミアム	
ジェット/灯油	+ 65.95	66.05 +	-0.15/ -0.05	円/kl
米西海岸向け軽油	+ 68.10	68.20 +	-0.65/ -0.55	47,129
軽油 0.001%S	+ 67.85	67.95 +	-0.90/ -0.80	48,573
重油 380cst 3.5%S	- 344.75	345.75 -	-16.50/ -15.50	48,405
円ドル換算レート (TTM 円/ドル 3月3日現在) 106.78 *還付金の2,800円を含む				

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	- 63.60~ 63.70 -	0.80/ 0.90
ジェット/灯油	+ 65.65~ 65.75 +	-0.45/-0.35
軽油 0.001%S	+ 68.50~ 68.60 +	-0.25/-0.15
軽油 0.05%S	+ 67.30~ 67.40 +	-1.45/-1.35
重油 0.5%S	+ 477.50~ 487.50 +	-2.50/ 7.50
重油 180cst 3.5%S	- 366.25~ 367.25 -	0.00/ 1.00

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格

	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR(\$/mt)	- 411.75~ 413.75 -	45.50/47.50*
0.45%LSWR(\$/bbl)	- 62.40~ 62.70 -	

*シンガポールペーパー swaps 180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパー swaps (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)

	3月	4月	5月
ナフサ	+ 62.75~ 62.85 +	+ 62.15~ 62.25 +	+ 61.45~ 61.55 +
ジェット/灯油	+ 66.05~ 66.15 +	+ 66.10~ 66.20 +	+ 66.30~ 66.40 +
ジェット/軽油格差	-2.70/ -2.60	- -2.65/ -2.55 -	- -2.35/ -2.25 -
0.001%S軽油	+ 68.70~ 68.80 +	+ 68.70~ 68.80 +	+ 68.60~ 68.70 +
重油 0.5%S	+ 479.75~ 480.25 +	+ 479.25~ 479.75 +	+ 477.00~ 477.50 +
180cst 3.5%S重油	- 366.00~ 366.50 -	- 362.25~ 362.75 -	- 360.25~ 360.75 -
380cst 3.5%S重油	- 361.00~ 361.50 -	359.00~ 359.50	+ 356.00~ 356.50 +

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)

	3月	4月	5月
ナフサ	1.48	1.34	1.09
ジェット/灯油	4.78	5.29	5.94
0.001%S軽油	7.43	7.89	8.24
重油 0.5%S	12.53	12.91	13.01
180cst 3.5%S重油	-4.97	-5.09	-4.95
380cst 3.5%S重油	-5.74	-5.59	-5.60

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)

	380cst	VLSFO	LSMGO (日本のみLSMDO)
東京湾	407.00-410.00 -10.00	512.00-515.00	669.00-679.00 +18.00
西日本	413.00-416.00 -10.00	518.00-521.00	679.00-689.00 +18.00
伊勢湾	412.00-415.00 -10.00	517.00-520.00	669.00-679.00 +18.00
韓国	395.00-398.00 +3.00	505.00-508.00	530.00-540.00 +13.00
シンガポール	368.00-371.00 -1.00	495.00-498.00	509.00-519.00 +2.00

◎韓国出しSR船型輸入採算価格 (A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン	灯油	軽油	LSA重油
北海道	54,952 +25	53,245 +161	54,429 +161	48,472 +163
京浜	54,478 +26	52,771 +162	53,955 +162	47,998 +164
中京	54,274 +26	52,568 +163	53,751 +161	47,795 +164
関門	54,003 +26	52,296 +162	53,480 +162	47,523 +164

マーケットコメント

○元売り市中調達

トッパー停止数・5基 停止率17.6%

3日は様子見。元売り向け、ないしはそれに紐づく大口取引は浮上しなかった。

○ガソリン京浜・前日比1,500円高の59,000～59,500円 大西・前日比1,500円高の59,000～59,500円

【概況】京浜、西日本ともに上伸。先物や陸上市況の上げを織り込んだ。JOF市場では小口取引も散見され、市況に弾みを見つけた。在庫は前年比12.9%増の195万kl。灯油や軽油、重油の需要が前年並みまで戻る反面、ガソリンはやや出遅れ感もある。

【成約一覧】

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
ガソリン	京浜	JOX	200	59,000	製油所

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値			59,000			
数量			200			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では京浜地区でセッションタイムに200klが59,000円で成約。商社や広域系のやり取りとみられるが、詳細は判然とせず。陸上市況の天井感に対し、海陸両面からアプローチ可能な広域系が海上玉で捌いたとも見て取れる。ただし、追加取引はなく、セッション終了。阪神市場では59,000円のビッドが残り、売り手待ちの様相を呈した。対象は製油所出し200kl。

OTC市場では東西ともに大口、小口含めて新規取引や成約は浮上しなかった。商社や大手タンク業者から目立った売買提示はなく、陸上向けは1,500円相当の値上げ済み。海上向けの売りアイデアも陸上引き上げに並行して東西59,500円が伝えられた。

一方、陸上市場では系列仕切り引き上げに対し、足元原油の軟化を見越し、第3週仕切りの下げ観測

が広がりつつあるようだ。広域系の一角は2～3週の改定幅を織り込み、値上げを抑えて都市部中心に販価を提示。結果的に広域系間で独歩安の販価設定が伝えられた。

東西の市況連動は月間平均に対し、プラス1,200～1,700円とプレミアムが大幅に広がった。

【先物】東商取バージ4月限は前日比270円高の54,350円。出来高は1,800kl。京浜現物中値との格差は4,900円に広がった。

【在庫】2月27日時点の在庫は東西で前年比12.9%増の1,94万5,190kl。取り崩しは進んでいるものの、タイト感を伝える声は皆無。需要が戻りつつある中間留分の在庫取り崩しに対し、ガソリンはやや出遅れ気味。ただし、現行は輸出で在庫調整が進められている。直近4週の輸出は約34万klに達し、前年を31%上回っている。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	991,281	33,591	1,449,309	-131,033	80,467	33,302
西日本	953,909	-52,419	688,908	-67,799	21,338	21,338

○灯油京浜・前日比200円安の54,400～55,200円 西日本・前日比200円安の54,300～55,300円

【概況】東西ともに弱含んだ。市況連動は京浜が月間平均レス700円～プラス100円、西日本が月間平均レス800円～プラス200。

【成約一覧】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOX	200	60,000	製油所	
京浜	JOX	200	54,800		
阪神	OTC	200	54,800		

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値		55,200	60,000			
数量		200	200			
市況連動						
数量						

【京浜】JOF市場の京浜では54,800円(200kl)の成約が浮上した。セッション終了までに55,200円(200kl)までオファーする向きもあったが、追加の成約には至らなかった。

ENEOSをはじめとした主要出し元各社が4日からの週間仕切り価格を前週から2,000円引き上げた。ただし、先物相場の上値が重たかったほか、元売り各社が翌週の仕切り価格を引き下げるとの見方から先高観が強かったため、横浜、千葉の陸上二次基地市況が依然として57,000円台で推移した。海上販売枠の陸揚げを見合わせ、海上スポット市場での販売を進める業者が増勢となった。

シーズンオフに向かうにつれ、在庫を整理する動きが徐々に広がり始め、積極的に買い進める業者は乏しいようだ。そうした中であって、上記のJOF市場の成約を買い手の目線からやや割高とみる向きもあった。

なお、JOF市場では60,000円(200kl、製油所)の成約が表面化した。ただし、JOF市場のベストオフ

ァー55,200円や、東京商品取引所(TOCOM)の京浜バージ当限市況54,810円に対し5,000円ほど割高とあって、販路の限られた特殊なディールとみる向きが多かった。

【西日本】OTC市場の阪神で54,800円(200kl)の成約が寄せられた。元売りの仕切り引き上げに対し、陸上二次基地市況が思いのほかには上がらず、海上市場の買い気が削がれた。在庫の処分を目的とした売りも引き続き旺盛で、取引可能な水準はやや切り下がった。もっとも原油市況が反発するとの見方から一定の買い気がみられ、これが相場の下支えとなったようだ。

なお、JOF市場の阪神では60,000円(200kl、製油所)の買唱えが寄せられたが、元売り向けとみられており、製油所玉を販売可能な業者はごく限られた。

【灯油在庫】石連が3日に発表した週間在庫統計によると、2月27日時点の全国の在庫は前年同週比4万678kl増の160万2,314kl。同日までの1週間の生

産量は同5万7,519kl減の29万558kl、輸出量は同2万5,724kl増の2万5,724kl、推計出荷量は同5万6,452kl減の32万9,092kl。気温が高く販売量が落ち込んだことなどから在庫水準が前年対比で積み上がった。供給過剰感が強い。

【ジェット燃料在庫】石連が3日に発表した週間在庫統計によると、2月27日時点の全国の在庫は前

年同週比3万1,711kl減の75万8,013kl。同日までの1週間の生産量は同9万6,205kl減の15万5,335kl、輸出量は同24万4,881kl減の5万815kl、推計出荷量は同6万8,545kl増の7万8,135kl。減産や販売量の増加などから前年対比で在庫水準は低めに推移した。

在庫内訳	単位:kl	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	1,142,201	-41,179	378,848	46,452	1,521,049	5,273
西日本	460,113	-23,079	379,165	-20,067	839,278	-43,146
輸出内訳						
東日本	25,724	25,724	48,955	16,299	74,679	42,023
西日本	0	0	1,860	-3,289	1,860	-3,289

○軽油 京浜・前日比750円高の60,300～61,200円 西日本・前日比750円高の59,800～60,700円

【概況】スポット市況は東西ともに前日から上伸。民族系の大手元売り2社が4日以降出荷分に適用する仕切り価格を大きく引き上げたことから、これを唱えに反映する動きが出ていた。ただ、前日までの原油市況を背景に翌週以降の仕切り価格は下げが想定されており、唱えを変えずに消化に専念するケースもあった。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは京浜が60,000円、西日本が59,500円でそれぞれ推移している。市況連動商談は京浜、西日本がいずれも月間平均プラス300～プラス1,200円とプレミアム圏で推移している。

【成約一覧】表面化せず。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	61,500		61,500			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場の買唱えは元売りの仕切り価格引き上げを背景に大きく切り上がった。京浜と阪神の製油所玉を対象に、いずれも61,500円のビッドが提示されている。しかし、この日も売りに応じる業者がいないままセッションは終了した。

OTC市場のオファーについてはまちまち。民族系最大手元売りが基準価格を2,000円引き上げたことを背景に、売唱えについても元売りの基準価格以上の60,000円台や61,000円台へと上方修正するケースが散見された。しかし、陸上スポット相場

の上値が抑えられ、相場の天井が意識される中とあって、前日と同水準で売り応じる業者もいる。京浜では60,000円、西日本では59,000円がそれぞれ最も割安なオファーだった。JOF市場のビッドを大きく下回っており、京浜では60,750円、西日本では60,250円を境にそれぞれ唱えが逆転している。

元売りの仕切り価格引き上げを背景に売買唱えを上方修正するプレーヤーが多かった。しかし、海陸市場では相場の天井が強く意識されているとあって、前日並みで売り応じる動きも見受けられている。ただ、原油市況の変動幅は高止まりしているとの見方も複数業者が寄せられていることから、足元ではブランド料込みの基準価格並みで様子見するプレーヤーも多かった。

【在庫】石連が発表した週間在庫統計によると、2月27日時点の全国の在庫は前年よりも9.3%多い146万7,000klとなった。この間の出荷量は10.4%少ない52万2,000klとなっており、引き続き新型コロナによる経済活動の減退が響いているようだ。一方、この間の輸出量は9万klとなっている。前年の数量と対比すると3割程度の数量にとどまってはいるが、前週と対比して大幅に増加している。灯油が需要のピークを過ぎ、軽油の精製量が増加していることから国内需給調整を目的に輸出量を増強している可能性がある。また、シンガポールの軽油クラック・マージンが回復基調にあることが材料視されているとの指摘もあった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	719,229	-17,436	462,729	-11,594	37,399	37,399
西日本	747,627	-72,398	346,329	53,613	52,162	52,162

○A重油0.5%S 京浜・前日比1,600円高の58,500～59,500円 西日本・前日比1,850円高の59,000～59,500円

【概況】スポット相場は前日の水準から大幅に上昇している。民族系最大手元売りが4日以降出荷分に適用する基準価格を2,000円引き上げたため、これを受けて売買唱えを引き上げる業者が多かった。ただ、海陸ともに相場の天井を意識する動きも出始め、京浜では早々に売り進める動きも出ていた。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは東西いずれも57,400円となっている。市況連動商談は京浜が月間平均プラス1,100～プラス2,100円、西日本が月間平均プラス1,600～プラス2,100円となった。

【成約一覧】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOX	100	59,500	kyg/ref	

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値			59,500			
数量			100			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では成約ができた。京浜玉100klが59,500円で成約されている。ルートは「REF/KYG」となっている。前日まで様子見していた業者が、相場の天井を意識して売りに動いたようだ。西日本では同じく59,500円で阪神玉への買い気が見されていたが、成約には至らず。

OTC市場のオファーでは東西で提示された59,000円が最も安かった。民族系最大手元売りのブランド料の加算されていない基準価格並みであれば販売ができるという。ただ、先安も意識され始めたことからディスカウントを意識し始めるプレーヤーもあり、相場の上値は重いようだ。

日本海洋事業は2月26日に3月納期の640klを対象とする競争入札を実施しており、市場関係者によると届け57,650円で落札されたという。

【在庫】石連が発表した週間在庫統計によると、2月27日時点の全国の在庫は前年を1.3%下回る40万9,000klとなっている。販売量は前年を32.0%上回る14万2,000klと好調だった。もっとも、前年同期は新型コロナの影響で経済活動が大きく落ち込んだとあって、前年の出荷数量が大幅に少なかったとの見方もある。この間の輸出量は3万8,000klとなっており、前年並みの水準だった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	253,395	-10,516	34,195	34,195
西日本	155,955	-14,837	3,715	-12,110

OA重油0.1%S 京浜・前日比1,600円高の59,000～60,000円 西日本・前日比1,850円高の59,500～60,000円

【概況】スポット市況は東西ともに底上げとなっている。元売りの仕切り価格引き上げを反映する展開となった。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは東西ともに57,900円。市況連動商談は京浜が月間平均プラス1,100～プラス2,100円、西日本が月間平均プラス1,600～プラス2,100円と大幅なプレミアムで推移している。

【成約一覧】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOX	100	60,000	kyg/ref	

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値			60,000			
数量			100			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では京浜玉100klが60,000円で成約された。この他には京浜では売買唱えが浮上し

ておらず、セッションは終了。また、JOF市場の阪神では同じく60,000円でビッドが提示されたもの

の、売りに応じる業者が現れなかった。

OTC市場のオファーでは東西で59,500円が提示されている。民族系最大手元売りの基準価格並みで売り唱える業者がいた。

【在庫】石連が発表した週間在庫統計によると、

2月27日時点の全国の在庫は27万5,000klとなり、前年を6.3%下回っている。この間の販売量は前年より6.6%多い10万8,000klとなった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	159,044	-2,953	1,188	229
西日本	115,689	5,022	0	-329

OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ47,500～48,500円

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比175円安の54,988円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	423,453	-11,334	0	0	29,430	13,002
西日本	250,468	-24,177	0	0	55,181	32,836

OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ42,000～43,000円

【概況】東西ともに横ばい。スポット市場では目立った売買の動きがみられなかった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	650,718	-7,084	0	0	87,363	61,723
西日本	498,214	29,632	33,125	33,125	22,053	-4,233

OC0.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ50,500～51,500円

【概況】東西ともに横ばい。スポット市場では目立った売買の動きはみられなかった。

原油相場は3月限で130円高と下げ止まりをみせた。堅調な原油相場を受け、4月以降のメニュー価格は大きく上昇するとみる声が多い。一方、月内の仮需については発生したとしても極めて限定的という声が伝えられた。なぜなら、各社

の月間販売枠は過去の販売実績に基づいており、枠を超える部分の需要に関しては、価格を含めて石油元売りとの協議が必要だからだ。タンクに在庫を抱える売り手同様、採算を考えるとより高く売れる4月以降の販売が好ましいため、安く買いたい需要家の思いに、供給側が必ず応じるとは限らないようだ。

OC3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ42,000～43,000円

【概況】東西ともに横ばい。JOF、OTC市場ともに唱えは聞かれなかった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比1,071円安の44,277円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比109円安の38,744円。

○スワップ取引・東商取概況

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から1,500円高の59,000～59,500円、灯油は同200円安の54,400～55,200円、軽油は同750円高の60,300～61,200円、A重油0.5%Sは同1,600円高の58,500～59,500円、A重油0.1%Sは同1,600円高の59,000～60,000円、C重油0.3%Sは同横ばいの47,500～48,500円、C重油3.0%Sは同横ばいの42,000～43,000円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日比270円高の54,350円、出来高は1,800kl(36枚)、クラックスプレッドは同140円高の12,870円。灯油は同70円高の54,810円、出来高は50kl(1枚)、クラックスプレッドは同60円安の13,330円。軽油は同400円高の58,700円、クラックスプレッドは同270円高の17,220円。

◎国内石油製品海上JOF・OTC成約

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
ガソリン	京浜	JOX	200	59,000	製油所
灯油	京浜	JOX	200	60,000	製油所
灯油	京浜	JOX	200	54,800	
灯油	阪神	OTC	200	54,800	
LSA 重油	京浜	JOX	100	60,000	kyg/ref
A 重油	京浜	JOX	100	59,500	kyg/ref

◎マーケットニュース

○ENEOS＝4日以降の基準価格、全油種で引き上げ

ENEOSは3日、4日以降の出荷分に適用する系列向け基準価格を通知した。複数の市場関係者によると、全油種2円の引き上げ。原油高を背景に産油国の原油調整金がか味され、5週連続の引き上げとなった。同社は3日までの出荷分で、全油種1円引き上げている。

○出光昭和シェル＝4日以降の仕切り価格は上げ、5週連続で

出光昭和シェルは3日、4日以降の出荷分に適用する仕切り価格を全油種で2.0円引き上げると通知した。複数の市場関係者が明かした。

ENEOSも4日以降出荷分に適用する基準価格について全油種を2.0円引き上げると通知している。

○原油・石油製品供給統計週報＝＜石油連盟全国＞

	今週 2/21～2/27	前週 2/14～2/20	前週比
製油所稼働状況			
週間原油処理量(kl)	2,835,373	2,623,919	+211,454
週間トッパー実稼働能力(b/d)	2,934,800	2,904,086	+30,714
週間トッパー実稼働率	86.8%	81.2%	+5.6
週間トッパー設計能力(b/d)	3,457,800	3,457,800	+0
週間トッパー設計能力稼働率	73.7%	68.2%	+5.5

石油製品週末在庫			
ガソリン	1,945,190	1,964,018	-18,828
ナフサ	1,513,020	1,505,459	+7,561
ジェット燃料油	758,013	731,628	+26,385
灯油	1,602,314	1,666,572	-64,258
軽油	1,466,856	1,556,690	-89,834
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	274,733	272,664	+2,069
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	409,350	434,703	-25,353
A 重油計	684,083	707,367	-23,284
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	673,921	709,432	-35,511
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	1,148,932	1,126,384	+22,548
C 重油計	1,822,853	1,835,816	-12,963
合計	9,792,329	9,967,550	-175,221
原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	10,034,350	9,741,208	+293,142
粗ガソリン	2,138,217	2,337,049	-198,832
粗灯油	427,834	522,216	-94,382
粗軽油	809,058	767,039	+42,019
粗 A 重油	556,528	565,617	-9,089
装置原料	2,927,446	2,816,629	+110,817
合計	6,859,083	7,008,550	-149,467
石油製品生産量			
ガソリン	899,114	889,595	+9,519
ナフサ	267,416	214,533	+52,883
ジェット燃料油	155,335	90,011	+65,324
灯油	290,558	250,906	+39,652
軽油	521,565	564,647	-43,082
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	111,691	98,557	+13,134
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	154,315	125,347	+28,968
A 重油計	266,006	223,904	+42,102
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	118,657	105,335	+13,322
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	189,400	183,609	+5,791
C 重油計	308,057	288,944	+19,113
合計	2,708,051	2,522,540	+185,511
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	0	0	+0
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	33,125	0	+33,125
C 重油計	33,125	0	+33,125
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出品			
ガソリン	101,805	47,165	+54,640
ナフサ	0	0	+0
ジェット燃料油	50,815	37,805	+13,010

灯油	25,724	0	+25,724
軽油	89,561	0	+89,561
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	1,188	1,288	-100
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	37,910	15,825	+22,085
A 重油計	39,098	17,113	+21,985
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	84,611	38,773	+45,838
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	109,416	51,926	+57,490
C 重油計	194,027	90,699	+103,328
合計	501,030	192,782	+308,248
単位: kl			

「n. a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国

	2021/2/21~2/27		前週比		前年比 (2/23~2/29)	
	出荷量 (kl)	日量平均 (kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	816,137	116,591	-5.6	-48,134	-2.0	-16,469
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	78,135	11,162	+31.3	+18,643	+714.8	+68,545
灯油	329,092	47,013	+4.9	+15,518	-14.6	-56,452
軽油	521,838	74,548	-13.4	-80,673	-10.4	-60,448
LSA 重油	108,434	15,491	-7.1	-8,277	+6.6	+6,712
HSA 重油	141,758	20,251	+13.3	+16,677	+32.0	+34,398
A 重油計	250,192	35,742	+3.5	+8,400	+19.7	+41,110
LSC 重油	69,557	9,937	+27.3	+14,922	+62.3	+26,693
HSC 重油	90,561	12,937	-20.0	-22,617	+43.2	+27,327
C 重油計	160,118	22,874	-4.6	-7,695	+50.9	+54,020
合計	2,155,512	307,930	-4.2	-93,941	+1.4	+30,306

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷 = 前週末製品在庫 + 当該週生産 + 当該週輸入 - 当該週輸出 - 当該週末製品在庫

○第十一管海保＝広島地区巡視船向けLSA重油、届け58円台で落札

第十一管区海上保安本部が3日開札した広島地区巡視船向けLSA重油565klを対象とする競争入札は、届け58円で落札された。落札したのはりゅうせき。納期は4月から22年3月。

○第十一管海保＝中城新港向け納め免税軽油、届け87円台で落札

第十一管区海上保安本部が2日開札した中城新港向け免税軽油330klを対象とする競争入札は、届け87.8円で落札された。落札したのはユカ。納期は4～22年3月。

◎お知らせ

○『クリーンエネルギーレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は2021年1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染

拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。

お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLから12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

ご購入につきましてご不明な点、ご質問がありましたらお気軽にお問い合わせください。

ご質問は クリーンエネルギーレポートチームまでお願いいたします。

電話：03-3552-2411 E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2020年12月24日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

＜対象レポート＞

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

○電力データCD・2019年度版の販売について

リム情報開発は、電力データCDの2019年度版の販売を7月15日から開始いたします。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております、電力データCDの最新版となります。最新版では、2019年4月から2020年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2019年度版は、収集体数4,740件(昨年度4,512件)で、うち比較可能なデータは3,379件(同3,282件)です。

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1545787.html>

お申込みこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/powerDataCd2019.pdf>

○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は2020年1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>



◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール: info@rim-intelligence.co.jp

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJapnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai--Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社] Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2021 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >